



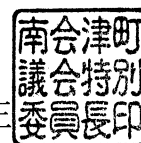
7 議委第 9 9 号

令和 8 年 2 月 1 0 日

南会津町議会議長 山内 政 様

議員定数と議員報酬に関する

特別委員会委員長 渡部 訓正



## 特別委員会調査報告書

本特別委員会特定事件の調査に係る町民説明会について、結果を別紙のとおり報告  
します。



## 議員定数と議員報酬に関する町民説明会（1回目・田島地域）報告書

日時：令和8年1月20日（火）午後6時から

場所：御蔵入交流館 多目的ホール

特別委員会委員：渡部訓正 委員長、渡部裕太 副委員長、酒井幸司 委員、湯田剛正 委員

星 和孝 委員、森 秀一 委員、楠 正次 委員（欠席なし）

町民出席者：10人 内訳 区長：5人、一般：5人（内女性1人）

議員出席者：2人

議会事務局：渡辺健二、渡部龍人

1. 開 会（司会：楠 正次 委員） 午後6時00分
2. 委員長あいさつ（渡部訓正 委員長）
3. 委員紹介（司会の楠 正次委員が委員を紹介）
4. 説 明（渡部裕太 副委員長） 資料により説明
5. 質疑応答・意見交換（午後6時21分）  
報酬・定数に関する主な意見等
  - ・ 1,000人に1人の指標を参考にするとあったが、令和5年4月の選挙は定数が多く、矛盾しているのではないか。
  - ・ 財政力指数などの類似団体との定数の比較は行わないのか。
  - ・ 報酬が少ないと言うが、郡内町村と比較すると多いのではないか。
  - ・ 資料2ページに「政策提言・立案」とあるが、最近は議員提案の条例がない。
  - ・ 現在は政務活動費がないが、政務活動費で「政策提言・立案」をもっとやるべきではないか。
  - ・ 只見町の同じ特別委員会は、ユーチューブで配信しているので、南会津町も行うべきでは。
  - ・ 年金収入や兼業による収入がなく、純粋に議員報酬だけで活動する議員はいないのではないか。
  - ・ 議会で年間約60日活動していると思うが、時給、日給を考えると、物価も上がっているのので、報酬は上げて良いのではないか。
  - ・ 町民が議会に興味をもってもらう活動も必要ではないか。
  - ・ チラシには、若者が議員になれないとあるが、仕事をしながらでもできるように、土・日や夜間に議会を行うなど、若者が出やすい議会を検討しないのか。
  - ・ 若者とは何歳までを言っているのか。
  - ・ 町民みんなの意見を聞いてとあるが、関心を持てるようにすべき。
  - ・ 定数は増やしてほしい。
  - ・ 報酬は給与ではないし、兼業もできるのだから、報酬を上げる必要はない。
  - ・ 議会を1日やるのにいくらお金がかかるのかも考えるべき。
  - ・ 報酬は、町民全体のことを考えてやらないと危険で、議員はあまい、公約はどうするのか、町民は大変になっている。

- これから各地域で開催するが、町の面積も広いことから、少数意見も重要だと思う。他の地域の意見等を後から教えてほしい。
- 今後のスケジュールに6月議会で条例案を出すとあるが、出す前にパブリックコメントを行うのか。
- 議員の活動が見えない。議会だよりを見ても一般質問をしない議員は何をしているのか分からないので、通信簿のようなものを出して可視化してほしい。

6. 閉 会（楠 正次 委員）          午後7時31分

## 議員定数と議員報酬に関する町民説明会（２回目・館岩地域）報告書

日時：令和８年１月２１日（水）午後６時から

場所：館岩会館２階 第１・２会議室

特別委員会委員：渡部訓正 委員長、渡部裕太 副委員長、酒井幸司 委員、湯田剛正 委員  
星 和孝 委員、森 秀一 委員、楠 正次 委員（欠席なし）

町民出席者：４人 内訳 区長：４人、一般：０人

議員出席者：２人

町職員：２人

議会事務局：渡辺健二、渡部龍人

- １．開 会（司会：渡部裕太 副委員長） 午後６時００分
- ２．委員長あいさつ（渡部訓正 委員長）
- ３．委員紹介（司会の渡部裕太委員が委員を紹介）
- ４．説 明（楠 正次 委員） 資料により説明
- ５．質疑応答・意見交換（午後６時２０分）  
報酬・定数に関する主な意見等
  - ・ ８ページにある「今後のスケジュール」は、固定なのか。スケジュール的には厳しいのではないかと思う。
  - ・ 議員定数は、あくまで目安（１,０００人に１人は）で、町民理解が必要と思う。
  - ・ 報酬は難しいと思う。報酬は生活給ではないと言われているが、議員の活動量が増えれば生活給になり得ると思う。ある人の話だと、選挙に出たいと会社の社長に相談したら、出るなら会社を辞めてくれと言われたらしいので、生活給の視点も特に若年層には必要だと思う。額の妥当性は分からないが、１・２万のレベルではなく、若年層が選挙に出られるように思い切った額が必要では。
  - ・ 議員に出る人が少ないのは、定年延長の影響もあるのではないか。働く期間が長くなり、年金をもらいながら議員をやる人が減っているのではないか。
  - ・ 若い人が選挙に出るにはお金は必要だと思う。今の議員の人たちが自分が思っていたことを考えて検討してほしい。
  - ・ アンケートにある政務活動費の導入も検討するのか。個人的には議員それぞれに活動量が違うので、後で精算する方法で導入してはどうか。
  - ・ 若い人が議員にならないから報酬を上げるのか。選挙に落ちたらただの人になり、先の保障がないので、単に報酬の問題ではないと思う。若い人とは何歳までなのか。
- ６．閉 会（楠 正次 委員） 午後６時４０分

## 議員定数と議員報酬に関する町民説明会（3回目・伊南地域）報告書

日時：令和8年1月22日（木）午後6時から

場所：伊南会館3階 大集会室

特別委員会委員：渡部訓正 委員長、酒井幸司 委員、湯田剛正 委員 星 和孝 委員  
森 秀一 委員 5人

（欠席：渡部裕太 副委員長、楠 正次 委員 2人）

町民出席者：2人 内訳 区長：1人、一般：0人、選管委員：1人

議員出席者：1人

町職員：3人

議会事務局：渡辺健二、室江夏雄

1. 開 会（司会：星 和孝 委員） 午後6時01分

2. 委員長あいさつ（渡部訓正 委員長）

3. 委員紹介（司会の星和孝 委員が、出席委員を紹介）

4. 説 明（森 秀一 委員） 資料により説明

5. 質疑応答・意見交換（午後6時24分）

報酬・定数に関する主な意見等

- ・ アンケート結果で、定数が奇数の回答があるが、普通は偶数で、議長を除いて奇数にするのではないかと。
- ・ 町村の議員は、兼職・兼業ができるのか。市はできないと思ったが。
- ・ 最近は無投票どころか定数割れもあると聞き、衆議院も定数削減を検討すると報道されている。人口1,000人に1人の目安との説明だったが、地域では子供も減っていて人口も減っていくので、議員定数を減らして報酬を上げてもいいのではないかと。
- ・ 若い人が少ないし、定年前である程度給料が高くなってから会社を辞めて議員になるのはリスクが高いので、定数を減らして報酬を上げてはどうか。
- ・ 町民に議員の報酬を知ってもらった方がいい。
- ・ 定数を減らさずに活躍してほしい。
- ・ 4ページの報酬の表で、平成30年から報酬が変わっていないが、会社や公務員はベースアップしている。議員の年収は、23万円が12か月で、ボーナスも出るのか。ボーナスは年間何か月分出るのか。

6. 閉 会（星 和孝 委員） 午後6時44分

## 議員定数と議員報酬に関する町民説明会（４回目・南郷地域）報告書

日時：令和８年１月２３日（金）午後６時から

場所：南郷総合センター３階 大会議室

特別委員会委員：渡部訓正 委員長、渡部裕太 副委員長、酒井幸司 委員、湯田剛正 委員  
星 和孝 委員、森 秀一 委員、楠 正次 委員（欠席なし）

町民出席者：３人 内訳 区長：３人、一般：０人

議員出席者：２人

町職員：１人

議会事務局：渡辺健二、室井夏雄

１．開 会（司会：渡部裕太 副委員長） 午後６時００分

２．委員長あいさつ（渡部訓正 委員長）

３．委員紹介（司会の渡部裕太 副委員長が、出席委員を紹介）

４．説 明（酒井幸司 委員） 資料により説明

５．質疑応答・意見交換（午後６時２４分）

報酬・定数に関する主な意見等

- ・ 議会の日数、委員会の日数など、議員の年間活動日数は、約１６０日とのことだが、年間約３００万円の報酬が見合っていないと考えているのか。区長や民生委員は、議員よりも報酬が安く、活動日数は多い。民生委員はなり手がなく、辞めたくても辞められないので、議会で見直しを考えたことはあるのか。
- ・ この説明会に参加する区長が少ないのは、区長が話しをしても議会で決めることだから、参加する必要はないと考えているのではないか。魅力のある地域にするために議会も頑張ってもらいたい。
- ・ 人口１，０００人に議員１人とのことだが、南会津町の人口が１３，０００人を切ったので、１６人を１２人するということか。
- ・ 議員数の決め方よりも、議員の中で、どの位の人数ならやっつけていけるか、検討したのか。
- ・ 他の地域の説明会では、どのような意見があったのか。
- ・ 町の人口が減少しており、特に西部地域の減りが激しく、人口１，０００人に議員１人だと広域的な問題もある。地域課題をくみ取れるようにしてほしい。
- ・ 若者が議員になることを考えると、報酬を上げるのはやむを得ないと思う。

６．閉 会（渡部裕太 副委員長） 午後６時４８分

## 議員定数と議員報酬に関する町民説明会（5回目・西部地域）報告書

日時：令和8年1月24日（土）午前10時から

場所：伊南会館3階 大集会室

特別委員会委員：渡部訓正 委員長、渡部裕太 副委員長、酒井幸司 委員、湯田剛正 委員  
星 和孝 委員、森 秀一 委員、楠 正次 委員（欠席なし）

町民出席者：1人 内訳 区長：0人、一般：1人

議員出席者：0人

町職員：1人 振興公社職員：1人

議会事務局：渡辺健二

1. 開 会（司会：渡部裕太 副委員長） 午前10時00分

2. 委員長あいさつ（渡部訓正 委員長）

3. 委員紹介（司会の渡部裕太 副委員長が、委員を紹介）

4. 説 明（湯田剛正 委員） 資料により説明

5. 質疑応答・意見交換（午前10時22分）

報酬・定数に関する主な意見等

- ・ 郡内町村の議員定数と報酬はどうなっているのか。南会津町の定数と報酬は、減らすよりも、もっと活動して働いてほしい。

6. 閉 会（渡部裕太 副委員長） 午前10時29分

## 議員定数と議員報酬に関する町民説明会（6回目・田島地域）報告書

日時：令和8年1月24日（土）午後3時から

場所：御蔵入交流館 多目的ホール

特別委員会委員：渡部訓正 委員長、渡部裕太 副委員長、酒井幸司 委員、湯田剛正 委員

星 和孝 委員、森 秀一 委員、楠 正次 委員（欠席なし）

町民出席者：19人 内訳 区長：5人、一般：14人（内女性：9人）

議員出席者：4人

報道：1人（たじまケーブルテレビジョン）

町職員：0人

議会事務局：渡辺健二

1. 開 会（司会：渡部裕太 副委員長） 午後3時00分

2. 委員長あいさつ（渡部訓正 委員長）

3. 委員紹介（司会の渡部裕太 副委員長が、委員を紹介）

4. 説 明（星 和孝 委員） 資料により説明

5. 質疑応答・意見交換（午後3時23分）

報酬・定数に関する主な意見等

- ・ 広報みなみあいづを見ると人口が減っているので、議員定数は減らすべき。
- ・ 最終的に議員が決めるので、町民の意見を聞いても意味が無いのでは。
- ・ 以前の報道機関へのあいさつで、議長は「議会改革を進める」、副議長は「議員定数と報酬の見直しを進める」との記事があったが、どちらもどうなっているのか。
- ・ 資料7ページに「議員提案」と「町長提案」とあるが、具体的に何が違うのか。
- ・ 政務活動費とは何か。どういう制度か。
- ・ 現在の議員報酬の月額と年額がいくらなのか。町長の給料は月額と年額でいくらなのか。資料9ページにある「町村長の給料の47%程度を目指す」とあるが、具体的に目指す額との差額はいくらなのか。資料にして提示し、考え方を説明すべきではないか。
- ・ 質問に答えられるだけの数値を準備して頂かないと分かりません。
- ・ 報酬額は、南会津町の数値と全国の数値を明らかにして示してほしい。
- ・ 定数を維持したまま報酬を上げる案には誰も納得しないため、定数削減と報酬引き上げはセットで検討すべき
- ・ 現在の報酬額では若い世代が生活するのは困難で、議員のなり手が自営業者などに偏るという懸念がある。
- ・ 報酬は生活費であり、活動に必要な経費は別途確保すべき。
- ・ 議会中継を見ると発言者が常に同じ議員に限られており、現在の定数が本当に必要なのか。
- ・ 定数を減らせば議員の報酬を上げられるということであれば、定数を減らして議員報酬を上げてあげるべき。生活できないような状況なら、議員になろうとは思わない人が多い。そのためにも政務活動費は必要では。

- ・ 毎日出勤しているのか。
- ・ 若い人とは、何歳までなのか。
- ・ 若い人に立候補を進めたことはあるのか。
- ・ 報酬等審議会とは、どのようなメンバーなのか。
- ・ 報酬等審議会で1万円に減らされた時は、議員から反論をしなかったのか。
- ・ 議員の中では、報酬の目標額はあるのか。
- ・ 定数を10名にする案はあるのか。
- ・ 定数を10名にして、報酬を上げてはどうか。
- ・ 報酬を上げないと、若い人は選挙に出られないと思う。
- ・ 議員は1ヶ月に何日仕事に出ているのか。
- ・ 議員の年金はどのようになっているのか。
- ・ 物価高に対する議会の考えは。物価高で報酬が安くては若い人が出られない。
- ・ 報酬が安いから立候補できないということは、残念だと思う。
- ・ 議員も仕事をしているのだから、正当な報酬は貰うべきと思う。

6. 閉 会（渡部裕太 副委員長） 午後4時43分

# 議員定数と議員報酬に関する町民説明会 参加者数集計

(単位：人)

開催日時	地域	区分	町 民 (延べ)			議員 (延べ)	職 員 (団体含む)	報 道	合 計
			区 長	一 般	計				
令和8年1月20日(火) 午後6時から	田島	参加者	5	5	10	2	0	0	12
		(内女性)		1	1				1
令和8年1月21日(水) 午後6時から	舘岩	参加者	4	0	4	2	2	0	8
		(内女性)			0				0
令和8年1月22日(木) 午後6時から	伊南	参加者	1	1	2	1	3	0	6
		(内女性)			0				0
令和8年1月23日(金) 午後6時から	南郷	参加者	3	0	3	2	1	0	6
		(内女性)			0				0
令和8年1月24日(土) 午前10時から	伊南	参加者	0	1	1	0	2	0	3
		(内女性)			0				0
令和8年1月24日(土) 午後3時から	田島	参加者	5	14	19	4	0	1	24
		(内女性)		9	9	1		1	11
総 合 計		参加者	18	21	39	11	8	1	59
		(内女性)	0	10	10	1	0	1	12



令和8年1月20日（火）



田島地域（御蔵入交流館）



令和8年1月21日（水）



舘岩地域（舘岩会館）



令和8年1月22日（木）



伊南地域（伊南会館）



令和8年1月23日（金） 南郷地域（南郷総合センター）



令和8年1月24日（土） 西部地域（伊南会館）



令和8年1月24日（土） 田島地域（御蔵入交流館）